

県立学校教頭経験年数3年未満（ただし昭和52年度を含む）に該当する教頭。

#### ⑤ 研修内容

##### ア 講演

「人を生かす」

三菱信託銀行 仙台支店長 呉 守 夫

「教育課程基準の改訂について」

郡山女子大学短期大学部教授 長谷川 寿 郎

##### イ 講義

「リーダーシップについて」

高等学校教育課長 高 橋 幸 一

「ILOと官公労争議権」

高等学校教育課

主任管理主事 金 沢 英 夫

##### ウ 協議

〈発表テーマ〉

(ア) 勤務時間管理上の問題点

(イ) 新入生に対する修学指導のあり方と具体的実践事例

(ウ) 指導力の向上を図る校内研修のあり方と具体的実践事例

(エ) 専門教科についての校内研修のあり方と具体的実践事例

(オ) 盲・聾・養護学校運営上の諸問題について

#### ⑩ 県立学校中堅教員研修会

##### ① 目的

県立学校の教務主任、学年主任等の中堅教員（学校運営上主要な職にあるもの）に対し、学校管理運営上の諸問題について研修を行い、中堅教員としての資質の向上を図る。

##### ② 主催 福島県教育委員会

##### ③ 期日・会場

9月5日(月)～9月9日(金) 教育センター

##### ④ 対象 県立学校中堅教員 89名

##### ⑤ 内容

##### ア 講演

自らの教育論を

前福島高等学校長 池 下 泰 弘

##### イ 講義並びに研修題

中堅教員に期待する

養護教育の諸問題

生徒指導の実態と課題

高校教育の実態と課題

教育課程の課題

教育関係裁判の最近の判決

学習指導の改善

進路指導の課題

校内研修組織の確立と教育情報の活用

校務分掌と職務命令

公務災害補償

勤務と給特法

##### ウ 班別研修テーマ

自発的な学習意欲を育てるための学習指導の展開

生徒指導において、中学校教育との関連をどのようにしたらよいか。

校務運営と中堅教員はどのような役割を果たすべきか。

若年教員に対する助言指導をどのように行ったらよいか。

#### ⑪ 県立学校新採用教員研修会

##### ① 目的

県立学校新採用教員に対し、服務と勤務、教育課程及び生徒指導について研修を行い、教育公務員として必要な知識を得させる。

##### ② 主催 福島県教育委員会・文部省

##### ③ 期日・会場

第一次 7月21日(木)～7月23日(土)

福島県教育センター

第二次 8月22日(月)～8月24日(水)

○ 県北・県中南地区

県立郡山女子高等学校

県立岩瀬農業高等学校

○ 会津地区

県立若松女子高等学校

○ いわき・相双地区

県立双葉農業高等学校

第三次 昭和53年1月18日(木)～1月21日(日)

福島県教育センター

県立福島女子高等学校

県立福島工業高等学校

県立福島農蚕高等学校

県立福島西女子高等学校

県立保原高等学校

福島市立福島養護学校

##### ④ 対象 昭和52年度県立学校新採用教員 64名

##### ⑤ 内容

##### ア 講演

「教育の本質とは何か」

横浜国立大学教育学部教授 加 藤 安 雄

「新採用教員に望む」

福島県教育庁高等学校教育課長

高 橋 幸 一

##### イ 講義並びに研修題

県立学校の概要

教師として

教育課程について

教職員の福利厚生について、テーブルマナー

効果的な授業の条件

生徒理解と生徒指導

教員と職員団体について

県立学校の管理運営に関する規則

教職員の服務と勤務

本県の養護教育について

教育機器の活用

教職員の研修

進路指導について